

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議

平成25年度 第2回総会議事録

平成26年1月24日

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議  
平成25年度第2回総会議事録

場 所：JA福島ビル4階 「403会議室」  
日 時：平成26年1月24日 午後1時30分～

議事の経過及び内容

午後1時30分、遊佐正広 事務局長（JA福島中央会 農業対策部長）の司会により、以下の順序に従って総会が進められた。

1 あいさつ

長島俊一 会長（JA福島中央会 常務理事）

2 議長選出

議長の選任方法を遊佐事務局長から議場に諮り、事務局一任の意見があり、事務局より長島俊一会長を提案、議場の承認を得て長島俊一会長が議長の就任あいさつをし、議事に入る。

3 議事録署名人及び書記の選任

議長から議事録署名人及び書記の選任について議場に諮り、議長一任の意見があり全員異議なく、議事録署名人に全国農業協同組合連合会福島県本部米穀部長の猪股孝二 様及び福島県米穀肥料協同組合総括部長の工藤 勉 様を、書記には事務局を選任した。

4 定足数確認

議長から本通常総会の定足数について報告を求められ、事務局長より会員団体数10団体9名のところ、本人出席者7名、委任状提出2名となり、総会の定足数に達したことを報告。

5 議事

議案第1号「平成25年度歳入歳出補正予算（案）について」

議長より、「議案第1号」について、事務局からの説明を求められた。  
事務局長より、「議案第1号」について、25年度の国の補正予算で新

設された攻めの農業実践緊急対策補助事業基金会計の内容を説明した。  
また、事務局から事業についての詳しい内容を説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ、全国農業協同組合連合会福島県本部猪股米穀部長から事業期間について、26年度で使い切るのか、27年度まで使えるのか、また、事業計画や審査などはどこが行うのか質問があった。

事務局長、福島県水田畑作課長より、総会資料P.10を参考に、予算は単年度でとっているが、農林水産省は複数年で使いたいので財務省と検討している。事務的な事業計画や審査などはしかるべき方法へこれから詰めていきたい、と説明した。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、全員賛成により「議案第1号」は可決承認された。

#### 議案第2号「平成26年産米の需給調整の取組推進（案）について」

議長より、「議案第2号」について、事務局からの説明を求められた。

事務局長より、「議案第2号」について26年産米の生産数量目標確保に向けた対応の考え方について、経営所得安定対策の加入推進や、産地交付金を有効活用し、政府備蓄米、加工用米、飼料用米などの非主食用米への作付けを推進していくと説明した。また、地域間調整については、県内受け手の調整料金の考え方を説明した。(20円/kg)

次に、福島県水田畑作課長より平成26年度産地交付金について、備蓄米の取組や、加工用米及び飼料用米等の推進に活用することや、配分額の考え方を説明した。

飼料用米の種子について東北農政局福島地域センター根本主査より県内保有の25年産飼料米の転用種子について説明があった。

議長より議場に意見又は質問を求めたところ「異議なし」との発声があり、全員賛成により「議案第2号」は可決承認された。

#### 8 閉会

午後2時40分、事務局長が本総会の閉会を告げた。

以上、この議事録が正確であることを証明するため、議長及び議事録署  
名人がここに署名し、押印する。

平成26年1月24日

議長

福島県水田農業産地づくり対策等推進会議 会長

議事録署名人

全国農業協同組合連合会福島県本部 米穀部長

議事録署名人

福島県米穀肥料協同組合 総括部長